

『するが有度山麓9条の会』NEWS

日本は大きな岐路に立っている 憲法違反の大軍拡をやめさせよう

倉戸 政治

ロシアによるウクライナ侵略が始まって、憲法9条では国を守れない、軍備を増やさなくては、との声が高まっています。

これらの声を受けて、岸田政権は、国の防衛方針の基本となる3文書（国家安全保障戦略、防衛大綱、中期防衛力整備計画）を年内に改定しようとしています。それは、今後5年間で防衛費を大幅に増やし、GDP比1%から2%にする（2倍化）。敵基地攻撃能力を保有する。などが中心です。

11月22日「安保3文書改定に関する政府有識者会議」が報告書をまとめました。

9月から始められたこの会議は、わずか4回の会合で、ほぼ政府・自民党の意向に沿った考えを盛り込みました。

世界第3位の軍事大国へ

現在の日本の防衛費は、補正予算まで含めると年約6兆円です。それを2倍にすれば12兆円となります。これが、実現すれば、米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国となります。戦争放棄をうたい、戦力を持たないことを誓った憲法9条に違反することは明白です。

敵基地攻撃能力とは、ミサイルなどで日本が攻められる前に敵基地を攻撃しようとするものです。まさに先制攻撃です。これは、憲法9条ばかりでなく戦後日本がとってきた防衛政策の「専守防衛」にも反します。

自民党は、今年の4月にまとめた提言で（攻撃対象が）相手国のミサイル基地に限定されるものでなく相手国の指揮統制機能等も含む」としていました。これは互いに全力で攻撃し合う全面戦争となります。

2015年に成立させられた安保関連法は集団的自衛権を認めています。これによって、日本が直接攻撃されなくても、「存立危機事態」と認められれば集団的自衛権を発動し参戦することが可能となりました。今アジアで最大の危険は、台湾をめぐる米中の対立です。自衛隊と在日米軍の間で、日米共同訓練が頻繁に行われているのはそれへの対応です。

岸田首相は、バイデン大統領との会談で「防衛費の相当な増額」を約束しました。大軍拡の背景にはアメリカの要求があります。

軍備拡大は「抑止力」であって、戦争をするためではない、戦争を仕掛けられないようにするためだという人がいます。

「安全保障のジレンマ」という言葉があります。A国に対する脅威を感じた結果として行われるB国の軍拡が、A国のB国への脅威を高め、結果としてさらにB国の軍拡をもたらすということです。軍拡し合えば互いに果てしない軍拡競争に陥る危険があります。軍事費は2倍どころではなく際限なく膨らみます。

2国間の軍事バランスが崩れた時、または偶発的な軍事衝突が戦争に発展する可能性もあります。過去の歴史を見ても軍拡競争は戦争につながっていました。

大軍拡の財源は国民負担！

大軍拡の財源はどうするのでしょうか？先の報告書では、「負担が偏りすぎないように幅広い税目による負担が必要」とし、「国民全体で負担することを視野に入れなければならない」と増税を打ち出しています。所得税増税になるのか消費増税になるのか、報告書は「多くの企業が国内投資や賃上げに取り組んでいるなか、こうした企業の努力に水を差さないように」と法人税増税とならないようくぎを刺すことも忘れていません。

今まで社会保障を目的に増税が行われてきましたが、軍拡を目的とした増税はかつてなかったのではないのでしょうか。この点からもきわめて異常な軍拡だと言わざるを得ません。

外交努力でこそ平和を

戦争は、急に発生するものではありません。必ず原因があり、前兆があります。ウクライナ戦争でいえば、8年前のユーロマイダン革命以前までたどることができません。仮に前兆があったとしたら、そこから発生までの間外交努力をする時間があります。いや前兆となるような原因を作らないようにするのが本当の外交かもしれません。

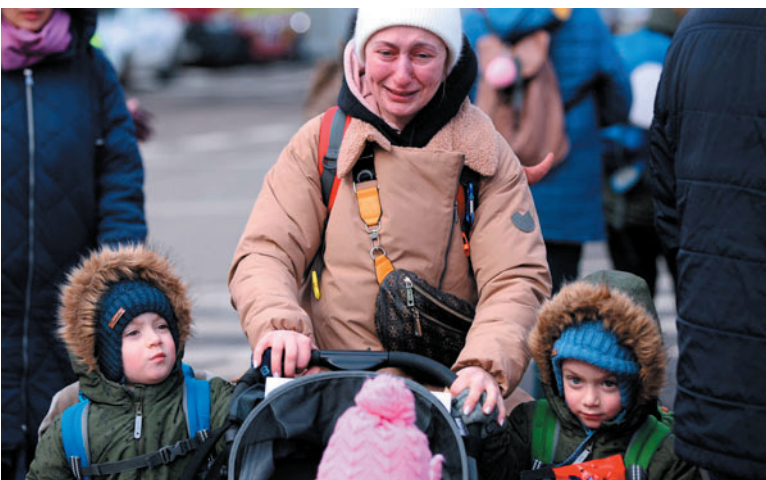
外交は無力ではありません。憲法9条に基づき敵国を作らない、近隣国に脅威を与えないなど外交の果たす役割は大きい。外交の価値を低く見てはいけません。優れた外交官は、兵器よりも大きな働きをします。

政府有識者会議では、外交努力は全

く語られませんでした。岸田首相に報告書を手渡した佐々江賢一郎氏は、アメリカ合衆国特命全権大使などを務めた日本では最優秀の外交官なはずですが、今日陥っている日本の外交の悲劇です。日米安保条約などによる対米従属外交を続けたために、外交能力を失っているのです。

戦後の日本は、1950年警察予備隊の設置以来、軍事力を次第に強化してきました。しかし、今度の大軍拡は今までとは比較にならない規模と内容のものです。平和な日本をめざすのか、戦争に近づく日本を目指すのか、歴史的な転換点に立っているということ強く感じます。

(2022年12月1日)



引き裂かれる家族 (ウクライナ)